

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2029年7月20日[当初、2024年7月22日]まで (2007年7月27日設定)	
運用方針	主として円建ての外国投資法人であるKB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)の投資信託証券(クラスA)および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界(含む日本)の水関連企業の株式に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJグローバル・エコ・ウォーター・ファンド	円建ての外国投資法人であるKB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)の投資信託証券(クラスA)および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を主要投資対象とします。
	KB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)ークラスA	世界(含む日本)の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
	日本短期債券マザーファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合に、当該超過分の範囲内で分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

愛称：ブルーゴールド

第16期(決算日：2023年7月24日)

信託期間を従来の2024年7月22日から2029年7月20日へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド」は、去る7月24日に第16期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	MSCI ワールドインデックス (円換算ベース)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
12期(2019年7月22日)	9,576	0	△ 5.5	175.40	△ 0.2	0.3	—	98.2	3,676
13期(2020年7月22日)	9,645	0	0.7	183.68	4.7	0.3	—	98.1	3,264
14期(2021年7月26日)	10,144	3,900	45.6	251.38	36.9	0.3	—	96.0	2,894
15期(2022年7月22日)	10,609	500	9.5	270.80	7.7	0.2	—	97.8	3,966
16期(2023年7月24日)	12,384	200	18.6	317.96	17.4	0.2	—	97.9	4,523

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。MSCI ワールド インデックス (円換算ベース) は、MSCI ワールド インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールド インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI ワールド インデックス (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2022年 7 月22日	円	%		%	%	%	%
	10,609	—	270.80	—	0.2	—	97.8
7 月末	10,693	0.8	270.00	△ 0.3	0.2	—	97.8
8 月末	10,615	0.1	271.45	0.2	0.2	—	98.2
9 月末	9,906	△ 6.6	257.39	△ 5.0	0.2	—	98.1
10 月末	10,940	3.1	281.05	3.8	0.2	—	98.3
11 月末	10,908	2.8	273.75	1.1	0.2	—	97.9
12 月末	10,615	0.1	256.56	△ 5.3	0.2	—	98.1
2023年 1 月末	10,888	2.6	266.47	△ 1.6	0.2	—	98.6
2 月末	11,281	6.3	274.64	1.4	0.2	—	98.0
3 月末	11,074	4.4	272.76	0.7	0.2	—	98.0
4 月末	11,247	6.0	279.55	3.2	0.2	—	98.4
5 月末	11,534	8.7	292.32	7.9	0.2	—	98.2
6 月末	12,384	16.7	314.86	16.3	0.2	—	98.0
(期 末) 2023年 7 月24日	12,584	18.6	317.96	17.4	0.2	—	97.9

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてE S G要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJ国際投信が定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufj.jp/corp/houshin/csr/index.html>) をご覧ください。

E S Gとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

運用経過

第16期：2022年7月23日～2023年7月24日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第16期首 10,609円

第16期末 12,384円

既払分配金 200円

騰落率 18.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ18.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

VEOLIA ENVIRONNEMENT（フランス）やPENTAIR PLC（アメリカ）などの株価が上昇したことや米ドルが円に対して上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第16期：2022年7月23日～2023年7月24日

投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年10月前半にかけては、米国などのインフレ長期化を受けて米連邦準備制度理事会（F R B）の大幅利上げへの懸念が高まったことや、景気減速懸念などから下落しました。

10月後半以降は、堅調な企業決算が発表されたことや、インフレ鈍化を示唆する一部の米経済指標などを受けて、F R Bによる利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇し、期間を通じてみると上昇となりました。

▶ 為替市況

米ドルは円に対して上昇しました。

米国長期金利上昇による日米金利差拡大などを背景に米ドルは対円で上昇しました。

▶ 国内短期債券市況

国内短期金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は拡大しました。

国内短期金利は、日銀による長期金利の許容変動幅拡大や、政策変更に対する思惑などから上昇しました。

一般債の国債とのスプレッドは、国内金利の変動性が上昇する中で拡大し、2023年1月初旬をピークに期間末にかけて縮小しましたが、期間を通じてみると拡大しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券への投資を通じて、世界（含む日本）の水関連企業の株式などを実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。また、日本短期債券マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA

水関連企業の特徴として、水関連企業による清潔な水や衛生サービス、灌漑設備等の提供は、農工業部門および家庭部門における水の供給増加や排水削減、水品

質の改善、農耕地の拡大等を通じて、環境および社会の改善を促進すると考えられます。

成長見通しが明るいとされる企業や、水関連の各分野で市場を牽引していくような企業への投資を継続しました。投資分野別では、「公益事業」、「水関連装置」、「水処理技術」の3つの分野を中心とした投資を継続しました。

「水関連装置」分野および「エンジニアリング」分野については、米国のインフレ抑制法（IRA）などにより、インフラ投資増加の恩恵を受けると考え、投資を継続しました。「公益事業」分野については、景気後退の懸念が高まるなか、ディフェンシブ性が高く、インフレによる料金引き上げも見込めることから投資を継続しました。

（ご参考）

投資分野別比率（2023年6月30日現在）

業種	比率
公益事業	32.4%
水関連装置	31.4%
水処理技術	21.3%
環境保全	6.6%
エンジニアリング	4.6%

（注）比率はKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスAの純資産総額に対する割合です。

業種はKBIグローバル・インベスターズ・リミテッドが独自に分類したものです。

エンゲージメント（企業との目的を持った対話）

チャイナ・ウォーター・アフェアーズ （業種：公益事業）

同社は保有する石油化学関連資産を利益が上がるまで保有する方針ですが、2024年3月を目途に早期に売却するよう求めました。また、同社では、社外取締役1名が2022年12月に退任し、残りの社外取締役4名のうち2名の在任期間が10年以上に及ぶことから早期の交代と、社外取締役が取締役に占める比率を50%以上に徐々に増やすように求めました。さらに、人事方針の様々な項目に人権が明示されていることから、具体的な人権方針の公表を求めました。

オルビア・アドバンス（業種：水関連装置）

同社に対して、事業を石油化学・塩化ビニール製造事業と食品・エネルギー・水・ブロードバンド事業に2分割し、企業価値向上を求めました。また、同社の経営陣との会議で取締役に占める女性の比率を25%から30%に増やすように求めました。

▶ 日本短期債券マザーファンド 組入比率

期間を通じて高位組み入れを維持しました。

債券種別構成

国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

日銀が金融政策決定会合において長期金利の許容変動幅を拡大したことや、政策修正懸念が台頭したことなどから国内短期金利は上昇余地があるものと判断し、2022年12月にデュレーションをベンチマーク（NOMURA-BPI短期）対比短めとしましたが、その後日銀の政策修正への思惑が後退したことから国内短期金利は横ばい圏での推移を見込み、2023年6月にデュレーションをベンチマーク並みとしました。

残存期間構成

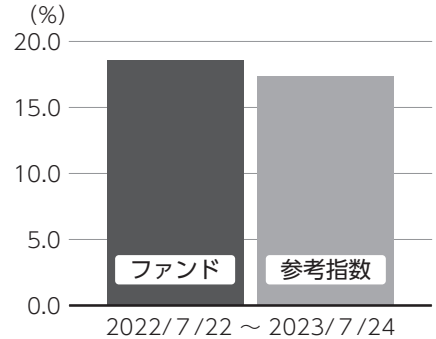
利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI ワールド インデックス（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第16期 2022年7月23日～2023年7月24日
当期分配金（対基準価額比率）	200 (1.589%)
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,755

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドに投資を行います。

▶KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）－クラスA

世界的に水の使用量拡大が見込まれることなどを背景に、水関連市場における需要は引き続き強いと考えています。特に、米国では住宅以外の建築投資や水関連も含めたインフラ投資などに対する需要が底堅く推移すると考えており、サプライチェーンの混乱収束やインフレに対応した製品やサービス価格引き上げなども企業業績にプラスに寄与すると考えています。

このような市場環境の下で、当ファンドではバリュエーションを重視しつつ、独自のテーマに基づき今後の業績拡大が期待できる企業に注目します。加えて、規制によって安定した収益が見込める公益事業や優れた技術により利益率が高く、バランスシートが健全な企業にも注目し、銘柄選別を実施する方針です。

▶日本短期債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

国内景気は既往の資源高の影響などを受けつつも持ち直しています。輸出や生産は、供給制約の影響の緩和に支えられて横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも緩やかに増加しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、ウクライナ情勢の展開や資源価格の問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われまます。国内債券相場は、海外金利動向や為替動向など懸念材料はあるものの、本邦金融政策修正観測の後退などから底堅い展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われまます。こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

2022年7月23日～2023年7月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	123	1.105	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(86)	(0.773)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	123	1.108	

期中の平均基準価額は、11,101円です。

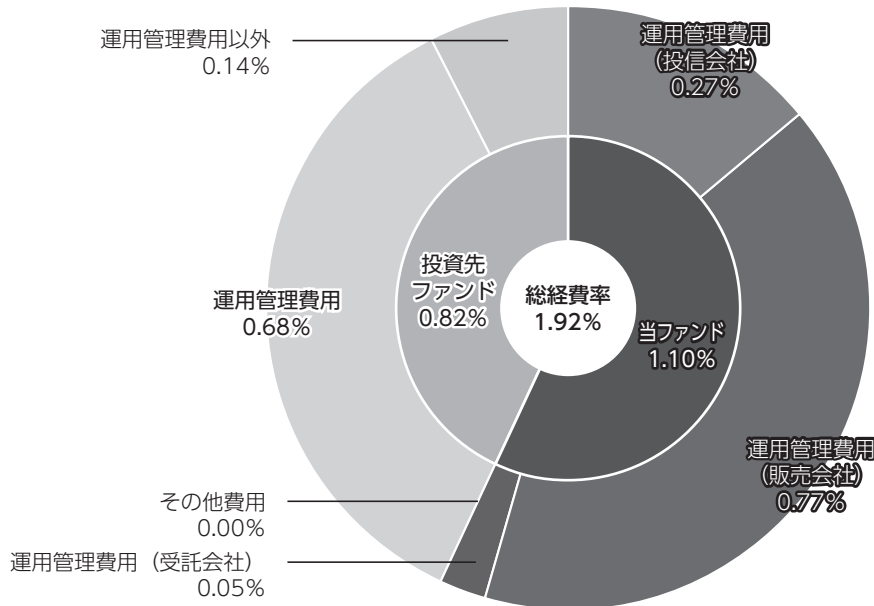
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.92
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.14

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月23日～2023年7月24日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	KBIエコ・ウォーター・ファンド(ICAV)ークラスA	千口 12	千円 314,988	千口 20	千円 544,771

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月23日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド>

該当事項はございません。

<日本短期債券マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 791	百万円 60	% 7.6	百万円 546	百万円 -	% -

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人の発行する有価証券等

<日本短期債券マザーファンド>

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 -	百万円 -	百万円 100

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<日本短期債券マザーファンド>

種 類	買 付 額
公社債	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタルです。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
KB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)ークラスA	千口 156	千口 148	千円 4,429,359	% 97.9
合 計	156	148	4,429,359	97.9

(注) 比率は三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 8,887	千口 8,887	千円 9,974	千円 9,974

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 4,429,359	% 95.8
日本短期債券マザーファンド	9,974	0.2
コール・ローン等、その他	182,026	4.0
投資信託財産総額	4,621,359	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,621,359,111
コール・ローン等	182,024,934
投資証券(評価額)	4,429,359,220
日本短期債券マザーファンド(評価額)	9,974,957
(B) 負債	98,038,845
未払収益分配金	73,049,495
未払解約金	1,614,597
未払信託報酬	23,313,758
未払利息	446
その他未払費用	60,549
(C) 純資産総額(A-B)	4,523,320,266
元本	3,652,474,792
次期繰越損益金	870,845,474
(D) 受益権総口数	3,652,474,792口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,384円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,739,124,140円
 期中追加設定元本額 293,153,903円
 期中一部解約元本額 379,803,251円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2384円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年7月23日～ 2023年7月24日
費用控除後の配当等収益額	6,130円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	709,432,191円
収益調整金額	131,325,289円
分配準備積立金額	238,557,026円
当ファンドの分配対象収益額	1,079,320,636円
1万口当たり収益分配対象額	2,955円
1万口当たり分配金額	200円
収益分配金金額	73,049,495円

○損益の状況 (2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 40,395
受取利息	524
支払利息	△ 40,919
(B) 有価証券売買損益	755,506,516
売買益	780,231,637
売買損	△ 24,725,121
(C) 信託報酬等	△ 46,027,800
(D) 当期損益金(A+B+C)	709,438,321
(E) 前期繰越損益金	238,557,026
(F) 追加信託差損益金	△ 4,100,378
(配当等相当額)	(131,325,089)
(売買損益相当額)	(△135,425,467)
(G) 計(D+E+F)	943,894,969
(H) 収益分配金	△ 73,049,495
次期繰越損益金(G+H)	870,845,474
追加信託差損益金	△ 4,100,378
(配当等相当額)	(131,325,289)
(売買損益相当額)	(△135,425,667)
分配準備積立金	874,945,852

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	200円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2023年7月24日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

①信託期間を従来の2024年7月22日から2029年7月20日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2023年4月22日)

②三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）ークラスA

決算日 2022年2月28日

[計算期間：2021年3月1日～2022年2月28日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	態	アイルランド籍・外国投資法人
ファンドの目的		世界（含む日本）の水関連企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。
主な投資対象		世界（日本を含む）の水関連企業の株式
設定日		2019年10月23日
決算日		原則として2月28日
投資運用会社		K B I グローバル・インベスターズ・リミテッド
信託報酬等		年0.7%以内（運用報酬：年0.62%、管理報酬：年0.08%以内） その他、外国投資信託証券の監査報酬、資産を外国で保管する費用等がかかります。
分配方針		信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）ークラスA

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。なお、開示情報につきましては、「K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）」で掲載しています。

1. 損益計算書

(2022年2月28日に終了する期間)

	日本円
収益	
運用収益	85,310,613
金融資産の純損益	585,055,871
投資損益合計	670,366,484
運用費用	(32,124,869)
費用控除前純損益	638,241,615
税引前損益	638,241,615
キャピタルゲイン税	326
源泉徴収税	(6,808,670)
税引後損益	631,433,271
純資産の増減	
ユニットの保有者に帰属する純資産の増減	631,433,271

2. 投資明細書
 2022年2月28日時点

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%)		
	Austria: 1.93% (2021: 1.94%)		
	Machinery-Diversified: 1.93% (2021: 1.94%)		
13,636	Andritz	70,666,454	1.93
	Total Austria	70,666,454	1.93
	Bermuda: 2.82% (2021: 2.74%)		
	Environmental Control: 1.61% (2021: 1.41%)		
465,636	China Water Affairs	59,129,379	1.61
	Water: 1.21% (2021: 1.33%)		
974,000	Beijing Enterprises Water	44,291,013	1.21
	Total Bermuda	103,420,392	2.82
	Brazil: 1.84% (2021: 2.11%)		
	Water: 1.84% (2021: 2.11%)		
40,570	Cia de Saneamento Basico do Estado de Sao Paulo	37,451,288	1.02
94,700	Cia Saneamento Minas Gerais	29,989,845	0.82
	Total Brazil	67,441,133	1.84
	Canada: 1.36% (2021: 1.60%)		
	Engineering & Construction: 1.36% (2021: 1.35%)		
8,713	Stantec	49,798,190	1.36
	Miscellaneous Manufacturing: 0.00% (2021: 0.25%)		
	Total Canada	49,798,190	1.36
	Cayman Islands: 0.34% (2021: 0.49%)		
	Water: 0.34% (2021: 0.49%)		
11,055	Consolidated Water	12,490,677	0.34
	Total Cayman Islands	12,490,677	0.34
	France: 6.37% (2021: 10.15%)		
	Water: 6.37% (2021: 10.15%)		
57,763	Veolia Environnement	233,664,632	6.37
	Total France	233,664,632	6.37

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	Germany: 1.52% (2021: 2.03%)		
	Metal Fabricate/Hardware: 1.52% (2021: 2.03%)		
13,862	Norma Group	55,734,263	1.52
	Total Germany	55,734,263	1.52
	Hong Kong: 2.53% (2021: 3.27%)		
	Environmental Control: 1.07% (2021: 1.31%)		
474,500	China Everbright International	39,202,460	1.07
	Water: 1.46% (2021: 1.96%)		
346,000	Guangdong Investment	53,499,913	1.46
	Total Hong Kong	92,702,373	2.53
	India: 0.58% (2021: 0.60%)		
	Engineering & Construction: 0.58% (2021: 0.60%)		
46,141	VA Tech Wabag	21,227,889	0.58
	Total India	21,227,889	0.58
	Ireland: 2.80% (2021: 3.95%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 2.80% (2021: 3.95%)		
15,389	Pentair	102,614,724	2.80
	Total Ireland	102,614,724	2.80
	Japan: 2.24% (2021: 3.39%)		
	Environmental Control: 2.24% (2021: 3.39%)		
17,500	Kurita Water Industries	82,206,250	2.24
	Total Japan	82,206,250	2.24
	Jersey: 2.40% (2021: 2.48%)		
	Distribution/Wholesale: 2.40% (2021: 2.48%)		
4,993	Ferguson	88,058,686	2.40
	Total Jersey	88,058,686	2.40

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	Mexico: 1.92% (2021: 2.48%)		
	Chemicals: 1.92% (2021: 2.48%)		
239,000	Orbia Advance	70,391,612	1.92
	Total Mexico	70,391,612	1.92
	Netherlands: 2.87% (2021: 3.55%)		
	Engineering & Construction: 1.00% (2021: 1.11%)		
6,987	Arcadis	36,760,404	1.00
	Miscellaneous Manufacturing: 1.87% (2021: 2.44%)		
10,649	Aalberts Industries	68,453,110	1.87
	Total Netherlands	105,213,514	2.87
	Philippines: 0.00% (2021: 0.31%)		
	Water: 0.00% (2021: 0.31%)		
	Total Philippines	-	-
	Republic of South Korea: 2.95% (2021: 2.66%)		
	Home Furnishings: 2.95% (2021: 2.66%)		
15,685	Woongjin Coway	108,179,341	2.95
	Total Republic of South Korea	108,179,341	2.95
	Singapore: 0.31% (2021: 0.36%)		
	Environmental Control: 0.31% (2021: 0.36%)		
564,300	SIIC Environment	11,270,699	0.31
	Total Singapore	11,270,699	0.31
	Sweden: 1.59% (2021: 1.74%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 1.59% (2021: 1.74%)		
15,476	Alfa Laval	58,289,999	1.59
	Total Sweden	58,289,999	1.59
	United Kingdom: 13.37% (2021: 11.96%)		
	Engineering & Construction: 2.75% (2021: 2.45%)		
226,793	Costain	15,385,939	0.42
82,244	HomeServe	85,567,812	2.33

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	United Kingdom: 13.37% (2021: 11.96%) (Continued)		
	Machinery-Construction & Mining: 1.17% (2021: 0.00%)		
17,460	Weir Group	42,692,264	1.17
	Water: 9.45% (2021: 9.51%)		
47,980	Pennon Group GBX	77,075,185	2.10
14,372	Severn Trent	63,809,108	1.74
123,820	United Utilities	205,554,032	5.61
	Total United Kingdom	490,084,340	13.37
	United States: 48.10% (2021: 41.33%)		
	Building Materials: 5.11% (2021: 5.14%)		
9,882	Fortune Brands Home & Security	98,888,975	2.70
13,716	Masco	88,520,748	2.41
	Commercial Services: 2.81% (2021: 2.05%)		
5,081	Ecolab	103,066,159	2.81
	Distribution/Wholesale: 2.34% (2021: 0.00%)		
33,144	Core & Main	85,795,170	2.34
	Electronics: 2.08% (2021: 3.00%)		
5,090	Agilent Technologies	76,395,963	2.08
	Engineering & Construction: 3.16% (2021: 2.56%)		
11,542	AECOM	96,597,207	2.64
5,489	Granite Construction	19,133,400	0.52
	Environmental Control: 2.43% (2021: 1.25%)		
6,493	Evoqua Water Technologies	31,898,744	0.87
3,123	Tetra Tech	57,088,441	1.56
	Healthcare-Products: 4.65% (2021: 2.84%)		
5,399	Danaher	170,633,214	4.65
	Housewares: 0.50% (2021: 1.65%)		
1,709	Toro	18,458,116	0.50
	Machinery-Diversified: 8.10% (2021: 7.39%)		
2,551	IDEX	56,345,687	1.54
2,425	Lindsay	36,648,268	1.00
2,613	Roper Technologies	134,957,534	3.68
6,714	Xylem	68,745,032	1.88
	Metal Fabricate/Hardware: 4.77% (2021: 6.85%)		
4,819	Advanced Drainage Systems	64,771,806	1.77
36,888	Mueller Water Products	53,850,693	1.47
2,248	Valmont Industries	56,012,030	1.53

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	United States: 48.10% (2021: 41.33%) (Continued)		
	Miscellaneous Manufacturing: 2.31% (2021: 2.41%)		
5,565	Ao Smith	43,946,660	1.20
7,001	SPX	40,861,289	1.11
	Water: 9.84% (2021: 6.19%)		
4,932	American Water Works	85,788,709	2.34
5,483	California Water Service	35,967,341	0.98
28,832	Essential Utilities	156,622,023	4.27
4,182	SJW	31,394,719	0.86
36,808	Vidler Water Resources	51,020,714	1.39
	Total United States	1,763,408,642	48.10
	Total Equities	3,586,863,810	97.84
	Total Financial assets at fair value through profit or loss	3,586,863,810	97.84
	Total Value of Investments	3,586,863,810	97.84
	Cash*	83,532,000	2.28
	Other Net Liabilities	(4,485,819)	(0.12)
	Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares	3,665,909,991	100.00

* All cash holdings are held with Northern Trust Fiduciary Services (Ireland) Limited.

日本短期債券マザーファンド

《第25期》決算日2023年7月24日

[計算期間：2022年7月23日～2023年7月24日]

「日本短期債券マザーファンド」は、7月24日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		NOMURA-BPI短期		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰	期中落率	期騰	期中落率			
	円	%		%	%	%	百万円
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840
22期(2020年7月22日)	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—	1,713
23期(2021年7月26日)	11,247	0.3	234.87	△0.1	97.3	—	1,703
24期(2022年7月22日)	11,248	0.0	234.59	△0.1	93.9	—	1,601
25期(2023年7月24日)	11,224	△0.2	234.55	△0.0	94.1	—	1,633

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその一切の権利は本社に帰属します。なお、本社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 短 期		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %		
(期 首) 2022年 7 月 22 日	11,248	—	234.59	—	93.9	—
7 月 末	11,249	0.0	234.63	0.0	94.3	—
8 月 末	11,239	△0.1	234.58	△0.0	92.8	—
9 月 末	11,230	△0.2	234.39	△0.1	92.5	—
10 月 末	11,227	△0.2	234.36	△0.1	95.6	—
11 月 末	11,209	△0.3	234.28	△0.1	93.2	—
12 月 末	11,189	△0.5	233.98	△0.3	92.5	—
2023年 1 月 末	11,188	△0.5	234.24	△0.1	95.3	—
2 月 末	11,197	△0.5	234.33	△0.1	87.3	—
3 月 末	11,205	△0.4	234.61	0.0	93.8	—
4 月 末	11,210	△0.3	234.53	△0.0	95.4	—
5 月 末	11,222	△0.2	234.57	△0.0	96.0	—
6 月 末	11,230	△0.2	234.67	0.0	96.8	—
(期 末) 2023年 7 月 24 日	11,224	△0.2	234.55	△0.0	94.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

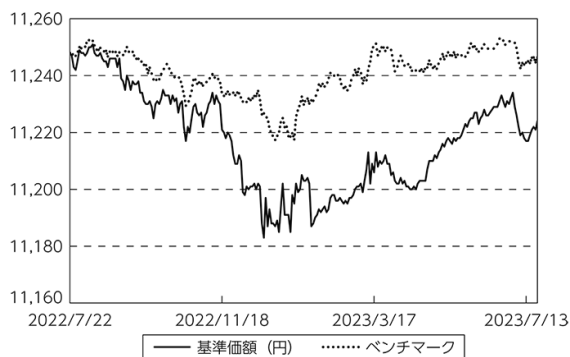
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマーク(NOMURA－BPI短期)の騰落率(－0.0%)を0.2%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 国内短期債券市況

- ・ 国内短期金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は拡大しました。
- ・ 国内短期金利は、日銀による長期金利の許容変動幅拡大や、政策変更に対する思惑などから上昇しました。
- ・ 一般債の国債とのスプレッドは、国内金利の変動性が上昇する中で拡大し、2023年1月初旬をピークに期間末にかけて縮小しましたが、期間を通じてみると拡大しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

◎ 組入比率

- ・ 期間を通じて高位組み入れを維持しました。

◎ 債券種別構成

- ・ 国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

◎ デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 日銀が金融政策決定会合において長期金利の許容変動幅を拡大したことや、政策修正懸念が台頭したことなどから国内短期金利は上昇余地があるものと判断し、2022年12月にデュレーションをベンチマーク対比短めとしましたが、その後日銀の政策修正への思惑が後退したことから国内短期金利は横ばい圏での推移を見込み、2023年6月にデュレーションをベンチマーク並みとしました。

◎ 残存期間構成

- ・ 利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-0.0%）を0.2%下回りました。

(マイナス要因)

◎ 債券種別構成

- ・ 日銀の政策修正懸念を背景に国内金利が上昇する中、スプレッドが拡大した一般債をベンチマーク対比でオーバーウェイトとしていたこと。

◎ 今後の運用方針

- ・ 安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
- ・ 国内景気は既往の資源高の影響などを受けつつも持ち直しています。輸出や生産は、供給制約の影響の緩和に支えられて横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも緩やかに増加しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、ウクライナ情勢の展開や資源価格の問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内債券相場は、海外金利動向や為替動向など懸念材料はあるものの、本邦金融政策修正観測の後退などから底堅い展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われます。
- ・ こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月23日～2023年7月24日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年7月23日～2023年7月24日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 90,316	千円 50,220
	社債券	701,446	496,641 (200,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月23日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
公社債	791	60	7.6	546	—	—

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 —	百万円 —	百万円 100

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	買付額
公社債	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタルです。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	40,000	40,141	2.5	—	—	2.5	—
普通社債券	1,500,000	1,497,572	91.7	—	—	49.1	42.6
	(1,500,000)	(1,497,572)	(91.7)	(—)	(—)	(49.1)	(42.6)
合 計	1,540,000	1,537,713	94.1	—	—	51.5	42.6
	(1,500,000)	(1,497,572)	(91.7)	(—)	(—)	(49.1)	(42.6)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第348回利付国債(10年)	0.1	40,000	40,141	2027/9/20	
小 計		40,000	40,141		
普通社債券					
第509回関西電力	0.47	100,000	100,207	2027/5/25	
第14回セブン&アイ・ホールディングス	0.19	100,000	99,891	2025/12/19	
第15回楽天グループ	0.5	100,000	94,535	2024/12/2	
第67回神戸製鋼所	0.2	100,000	99,425	2026/6/10	
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	99,917	2024/8/2	
第78回伊藤忠商事	0.785	100,000	100,551	2024/5/30	
第37回丸井グループ	0.12	100,000	99,979	2023/12/1	
第80回ホンダファイナンス	0.26	100,000	100,038	2026/6/19	
第29回SBIホールディングス	1.0	100,000	100,140	2025/7/22	
第96回トヨタファイナンス	0.06	100,000	99,577	2026/4/15	
第42回リコーリース	0.39	100,000	100,221	2027/6/1	
第32回三菱UFJリース	0.695	100,000	100,617	2024/10/25	
第27回野村ホールディングス	2.107	100,000	103,466	2025/9/24	
第35回フランス相互信用連合銀行	0.279	100,000	98,688	2026/10/21	
第6回ビー・ピー・シー・イー・エス・エー	1.258	100,000	100,320	2024/1/25	
小 計		1,500,000	1,497,572		
合 計		1,540,000	1,537,713		

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,537,713	% 94.1
コール・ローン等、その他	95,863	5.9
投資信託財産総額	1,633,576	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,633,576,750 円
コール・ローン等	93,561,198
公社債(評価額)	1,537,713,200
未収利息	2,101,817
前払費用	200,535
(B) 負債	215,374
未払解約金	215,145
未払利息	229
(C) 純資産総額(A-B)	1,633,361,376
元本	1,455,252,112
次期繰越損益金	178,109,264
(D) 受益権総口数	1,455,252,112口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,224円

○損益の状況 (2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,652,708 円
受取利息	7,696,803
支払利息	△ 44,095
(B) 有価証券売買損益	△ 11,101,600
売買益	743,400
売買損	△ 11,845,000
(C) 当期損益金(A+B)	△ 3,448,892
(D) 前期繰越損益金	177,642,602
(E) 追加信託差損益金	29,086,740
(F) 解約差損益金	△ 25,171,186
(G) 計(C+D+E+F)	178,109,264
次期繰越損益金(G)	178,109,264

<注記事項>

- ①期首元本額 1,423,884,307円
 期中追加設定元本額 238,649,365円
 期中一部解約元本額 207,281,560円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1224円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型)	1,115,862,666円
三菱UFJ 国内バランス20	213,333,455円
日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)	104,492,135円
日本短期債券ファンドVA(適格機関投資家限定)	12,676,688円
三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド	8,887,168円
合計	1,455,252,112円

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。